

さとおや
「里親」って

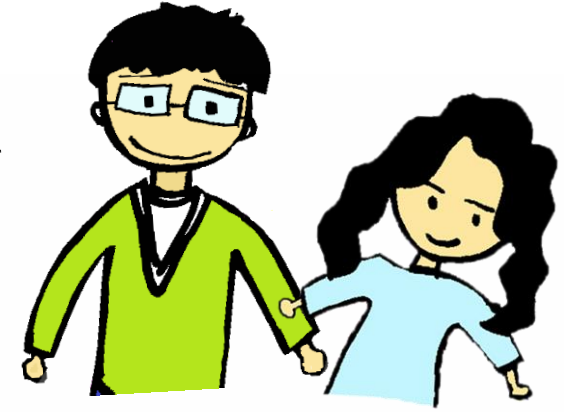
しってる？

「 さとおや・・・親 」？

「おや」といっても

血はつながってない

「さとおや」は



お父さん お母さんと

いっしょにくらせない子どもを

自分の家で育ててくれる人

「さとおやのいえ」でのくらしは

2、3日のこともあるし

大人になるまでのこともある

「よういくさとおや」さんのはなし



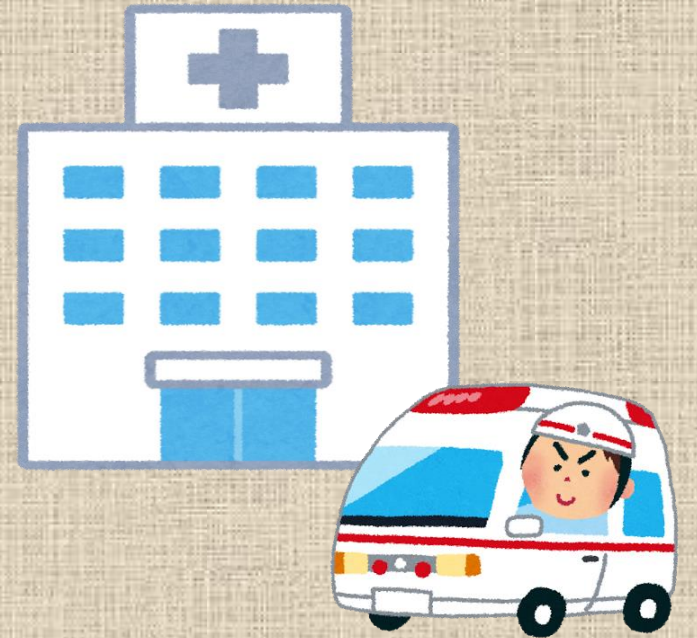
あるまちに

お母さんと二人でくらす

女の子がいました。



女の子のお母さんは病気になってしまい、
しばらくのあいだ、
入院することになりました。



そのあいだ、
女の子はひとりで
くらすことができません。



おじいさん おばあさんはいるけれど
遠い遠い町にすんでいます。



もし、おじいさんのいえに

行くことになったら・・・





たのしいけれど・・・

でも、ともだちのいる

いつもの学校に行くことはできません。

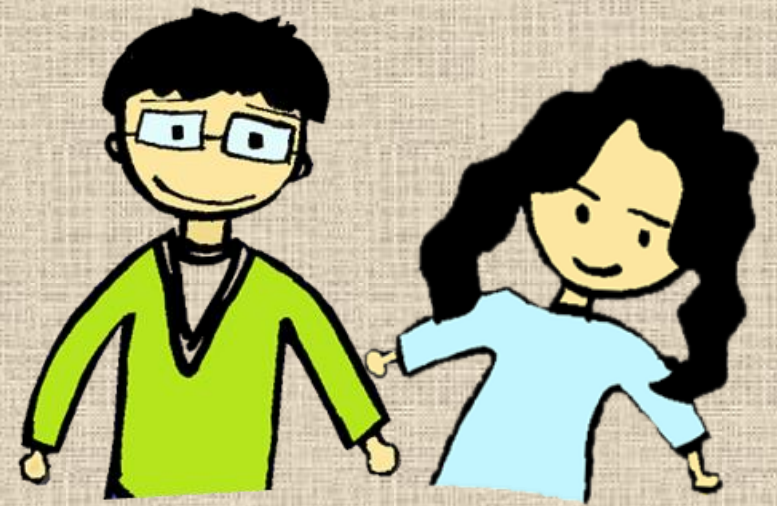
もうすぐ、

たのしみになっていた

えんそくがあるのに・・・



そんなとき、
女の子のすむ町の
「さとおや」さんが
いきました。



「お母さんが、元気になるまで
いっしょに　くらそうよ」



女の子は「さとおや」さんの家で

いっしょに くらすことになりました。



それから女の子は、
ともだちといっしょに勉強したり
あそんだり



お母さんのおみまいに
行ったりしながら
すごしました。





あつ えんそく！！



もちろん、

「さとおや」さんがつくってくれた

おべんとうをもって

行くことができましたよ。



しばらくして
女の子のお母さんは、
元気になって たいいんしました。





ただいま
おかあさん



子どものそばで

いつも みまもっていて

子どもが わらえば

うれしくて

いっしょに

わらえることが

うれしくて

子ども^がのぜんぶ^がを うけとめて

いつでも みかたで いてくれる

それが

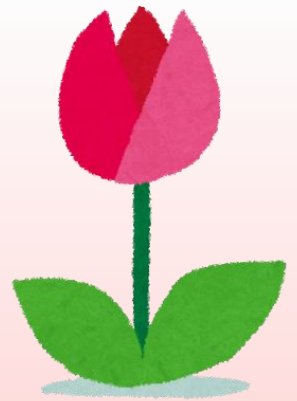
「さとおや」



そんな おとなが いてくれたら

なんだか 安心すると

おもわない？



あなたにも しってほしい

「さとおや」のこと

「さとおや」は



みえさとちゃん

子どものおだちのおうえんだん

お わ り



三重県